

2年前の旅の主なる目的はパリにあったが、他の街にも行ける時間の余裕があり、私と夫はアルザスに行くことにした。

アルザス地方では、コウノトリ伝承が有名である。

「なぜ私たち夫婦のところには来てくれなかったのか」

コウノトリを見つけたらそう文句でも言ってみようか、などと列車の中で話をしていた。

コウノトリは春から秋にかけてヨーロッパで子育てをした後、秋冬は暖かいアフリカ大陸に渡る。そう知ったのは、晩秋のアルザスに着いた後だった。そうして私たちは、主のいない空の巣ばかりを見上げ続けることになった。

空の巣は多くのことを語ってくれたり、投げかけたりしてくれ、私の心を揺さぶった。空（から）には不思議な力があるようだ。

サンスクリット語において、空の語源は「家に人がいない」というような時に使われ、それは「期待される何かを欠いた」状態という意味らしい。

カメラもその中身は空ではないかと思ひ及んだ。

カメラ・オブスキュラの原理からも分かるように、基本構造を考えると中は空洞であり、空の箱に等しい。

空の箱が意思を持って対象に向かう時、暗い空間が開く。そして光とともにその表像を内に取り込んで写真が生まれる。

期待して欠けながらも無ではない「空」をとらえ、肯定された世界は明るく、見晴らし良く見えて来た。

『Empty Nests』について

アバロス村野敦子

2021年11月

2022年4月30日（土） - 5月15日（日）

Empty Nests Exhibition

Atsuko Murano Abalos

この度IACKは、写真家のアバロス村野敦子による個展「Empty Nests Exhibition」を開催いたします。

パリから電車でおよそ二時間、フランス北東部のライン川沿いに広がるアルザス地方は、山川に囲まれた美しい景観やワインの産地として知られています。またアルザス地方は湿地帯が多いことから、赤いくちばしをもつコウノトリ「シュバシコウ」がフランスで最も多く生息し、その幸せを運ぶ鳥としての伝承からも地方のシンボルとして広く愛されています。

2019年にパリを目的地として渡仏したアバロス夫妻は、空き時間を利用してアルザス地方を訪れました。しかし季節は晩秋、子育てを終えたコウノトリたちはすでにより快適な冬を過ごすために暖かいアフリカ大陸へと渡っており、ふたりがアルザスで見かけたのは空っぽの巣ばかりでした。しかし作者は、空の状態を「期待して欠けながらも無ではない」状態と解釈し、街のさまざまな場所で見つけた「空（から）の」コウノトリの巣を撮影して回りました。それらの写真から構成された『Empty Nests』は、街並みに不思議と溶け込む彼らの住まいを観察する視覚的喜びを与えるだけでなく、禅問答のような不在の存在への思索をも鑑賞者に促します。

「鳥の巣は敵から全方位を守るためにその形が自然と円形になる」— 絵本作家／鳥の巣博士の鈴木まもる氏から聞き学んだ言葉を参考に、本展でアバロスはプリントが鑑賞者を囲むような展示方法を採用しています。加えて会場中央には、同氏に作り方を学び制作された巣の模型と、作家にとっての空の巣である手製のピンホールカメラが配置されています。これらの作品から構成された「Empty Nests Exhibition」は、作家の個人的な体験を反映した作品であると同時に、コウノトリの生態系を興味深い視点から捉えたドキュメンタリーであり、アルザス地方の都市論であり、あるいは住居や巣立ちという視点から建築や家庭についても考え得る作品かもしれません。作家自身が述べるように本作は「空」の状態だからこそ、いかような解釈をも許容し、発展していく可能性に満ちた展示作品となっています。

会場では展示作品に加えて、写真集『Empty Nests』も同時に販売いたします。展覧会、そして写真集というふたつの形態で表現された『Empty Nests』の世界をどうぞ高覧ください。

会期：2022年4月30日（土） - 5月15日（日）

営業時間：平日12:00 - 17:30／土日12:00-19:00

休業日：5月9日（月）、5月10日（火）

会場：IACK

www.iack.online

@iack.studio



【トークイベント】

Artist Talk: Atsuko Murano Abalos - "Empty Nests"

ゲスト：アバロス村野敦子（写真家）

聞き手：河野幸人（写真家／IACK代表）

日時：2022年5月14日（土）15:00 – 16:30 *時間は前後する場合がございます

会場：IACK

参加費：¥1,500（税込）

定員：10名程 *要予約。参加希望者はIACK店頭、または以下フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/3DqmLjSRYhd6Kksn6>



【サテライトイベント】

アルザスが繋ぐー Empty Nestsとナチュラルワイン

会期：5月13日（金）12:00-17:30、5月14日（土）12:00-18:00

会場：Wineshop Brücke

〒920-0864 石川県金沢市高岡町18-2

Wineshop Brückeにて、『Empty Nests』の撮影地であるアルザス産ワインの特集が開催されます。イベントのためにセレクトされたアルザスワインをいただきながら、同店2Fにて当イベントのために再構成された「Empty Nests」の作品投影をご鑑賞いただけます。

-

アバロス村野敦子／Atsuko Murano Abalos

兵庫県宝塚市出身。聖心女子大学文学部卒業後、総合商社勤務を経て渡米。留学先であるArt Institute of SeattleではCommercial Photographyを専攻し、卒業後はシアトルの白黒写真専門ラボでプリンターとして経験を重ねる。帰国後は日本国内で商業写真撮影、海外での雑誌取材を中心とした活動を展開し、その後シンガポールに移る。2013年以降は活動の場を再び日本に戻し、現在は写真作家として表現の幅を広げる。2021年11月に出版された仏・アルザス地方のクワンゾトリの空の巣を撮影した作品の他に、東日本大震災で起きた津波によって日本から流された漂流物を北米の海岸で拾うアメリカ人男性を撮影した作品、日本列島の中央を横断する大地溝帯フォッサマグナと日本の地質をテーマにした作品、世界一の長さを競ったイギリスと日本の吊り橋がかかる4つの町を撮影した作品がある。

www.abalos-murano.com

